

准教授 鳥海 直美 (女)
(トリウミ ナオミ) (Naomi Toriumi)

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| ◆ 学 位 | 学 位 名 | 博士 (学術) 大阪市立大学 | 修士 (学術) 大阪市立大学 | |
| | 取得方法 | 課程 平成 18 年取得 | 課程 平成 14 年取得 | |
| ◆ 学 歴 | 大 学 | 大阪市立大学生活科学部社会福祉学科 卒業 | | |
| | 大 学 院 | 大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程 平成 18 年 3 月修了 (長寿社会総合科学講座長寿社会福祉科学コース障害者・高齢者福祉学分野) | | |
| ◆ 学 内 職 務 (平成 29 年度) | <ul style="list-style-type: none"> ▪ キャリア委員 人権委員 ▪ 図書委員 | | | |
| ◆ 担当授業科目 (平成 29 年度) | <ul style="list-style-type: none"> ▪ 相談援助の基盤と専門職 I・II ▪ 社会福祉相談援助実習指導 A・B・C ▪ 社会福祉相談援助実習 ▪ 社会福祉相談援助演習 I・II・III・IV・V ▪ 人間福祉演習 I・II・III・IV ▪ 卒業研究 | | | |
| ◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ▪ 社会福祉士 (登録 No. 06972) | | | | |
| ◆ 専門研究分野 | | ◆ キーワード | | |
| 社会福祉学 | | <ul style="list-style-type: none"> ▪ ソーシャルワーク ▪ 障害児者の地域生活支援 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ アドボカシー ▪ アクションリサーチ | |
| ◆ 研究概要 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「障害児への相談支援におけるアドボカシーに関する実証的研究」平成26~29年度科学研究費・基盤研究 (C) 研究代表者 ▪ 「障害児者入所施設における訪問アドボカシーシステム創出のためのアクションリサーチ」平成 29~31 年度科学研究費・基盤研究 (B) 研究分担者 ▪ 「障害児者入所施設への外部アドボカシー導入研究—システム創出のためのアクションリサーチ」平成 29 年度日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金研究分担者 ▪ 「児童福祉施設へのアウトリーチ型権利擁護システムの開発」平成 29~31 年度科学研究費・基盤研究 (C) 連携研究者 | | | |
| ◆ 所属学会 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本社会福祉学会 ▪ 日本在宅ケア学会 ▪ 日本介護福祉学会 ▪ アートミーツケア学会 | | | |
| ◆ 主要著書 (5 件程度) | | | | |
| 書名・タイトル | | 単/共 | 発行年月日 | 発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▪ アートミーツ叢書② 生と死をつなぐアート 分かたれた者たちの共生のために | | 共 | 平成 27 年 11 月 1 日 | 2-4 「亡くなった人とともに生きる—ホスピスケアにおけるケアの営みをもとに」 pp. 100-121, 共著者: 田村恵子・鳥海直美, 責任編集: 秋田光彦・坂倉杏介 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▪ 新・社会福祉士養成講座 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 [第 5 版] | | 共 | 平成 27 年 2 月 1 日 | 6-6 「居宅介護等従業者の役割と実際」 pp. 223-228, 編著者: 小澤温・坂本洋一, 中央法規出版 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▪ 介護福祉学事典 | | 共 | 平成 26 年 10 月 10 日 | 1-④ 「介護の人材と介護労働安定センターの役割」 pp. 158-159, 編集: 日本介護福祉学会事典編纂委員会, ミネルヴァ書房 |

| <ul style="list-style-type: none"> 子どもアドボカシー実践講座:福祉・教育・司法の場で子どもの声を支援するために | 共 | 平成 25 年 4 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> 「児童福祉サービスの利用にかかわる子どもの思いを聴こう：障害児のアドボカシー」 pp. 116-119 「障害児が大学進学を選択するとき：学校における障害児のアドボカシー」 pp. 136-139 編著者：堀正嗣・子ども情報研究センター，解放出版社 |
|---|-----|------------------|---|
| ◆ 主要論文（5件程度） | | | |
| 書名・タイトル | 単/共 | 発行年月日 | 発行所，発表雑誌等，発表学会の名称 |
| <ul style="list-style-type: none"> 中高生の知的障害児が取り組む自立生活プログラムの開発－障害児の地域生活支援におけるアクションリサーチを通して－ | 単 | 平成 29 年 3 月 | 『四天王寺大学紀要』63, pp. 37-54 |
| <ul style="list-style-type: none"> 学齢期の知的障害児への相談支援モデルの開発：〈子どもからはじめる個人将来計画〉を用いた相談支援のアクションリサーチ | 単 | 平成 26 年 3 月 | 『四天王寺大学紀要』57, pp. 269-289 |
| <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護，訪問介護，居宅介護支援事業所従事者が在宅高齢者終末期支援を行う上で経験する葛藤とその対処 | 共 | 平成 25 年 3 月 | 『香川大学看護学雑誌』17 (1), pp. 11-24, 松井妙子・鳥海直美・西川勝 |
| ◆ その他（5件程度） | | | |
| 書名・タイトル | 単/共 | 発行年月日 | 発行所，発表雑誌等，発表学会の名称 |
| <ul style="list-style-type: none"> 障害児入所施設における独立子どもアドボカシー導入のニーズと懸念 | 共 | 平成 28 年 9 月 11 日 | 第 64 回日本社会福祉学会，共同発表者：鳥海直美・栄留里美・久佐賀眞理・農野寛治・堀正嗣（於：佛教大学） |
| <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設入所児童への外部アドボカシー導入研究 - ICAS 提供モデルの構築 - 研究報告書 | 共 | 平成 28 年 3 月 | 平成 25～27 年度日本学術振興会科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 研究報告書（研究代表者：堀正嗣），pp. 16-17, 19-20, 51-57, 86-87, 90-93, 100-101, 121-124 |
| <ul style="list-style-type: none"> 「ともに学ぶ」ことから生まれるもの | 共 | 平成 27 年 2 月 | 『ともにまなぶ ともにいきる』第 2 号, pp. 28-46, まっすぐプランニング |
| <ul style="list-style-type: none"> 施設で暮らす子どもの意見表明権をどう保障するか－大阪におけるアドボカシーモデルの構想－ | 共 | 平成 26 年 9 月 14 日 | 第 20 回子ども虐待防止世界会議 2014, 共同発表者：農野寛治・中村みどり・前河桜・鳥海直美・堀正嗣・栄留里美（於：名古屋国際会議場） |
| <ul style="list-style-type: none"> ジレンマ状況におけるソーシャルワーク実践の価値生成に関する実証的研究 研究報告書 | 共 | 平成 26 年 3 月 | 平成 22～25 年度日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (B) 研究報告書（研究代表者鳥海直美），pp. 2-7, 90-109 |